

# 長良川遊水地(美濃市地区) 下渡地区説明資料

令和6年 7月

国土交通省 中部地方整備局  
木曽川上流河川事務所

# 長良川における過去の出水

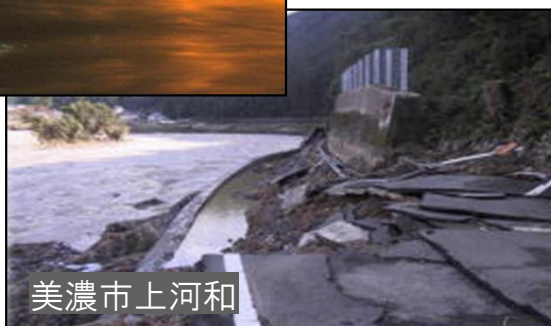
○長良川では、昭和51年9月に発生した安八豪雨により、長良川右岸堤防が決壊し、長良川流域で約59,500戸が浸水するなど、広い地域において甚大な被害が発生しました。

○また平成16年10月の台風23号による出水では、岐阜市忠節地点で、戦後最大規模となる流量を記録し、岐阜県が管理する中上流部で越水・溢水氾濫が発生し、床上浸水386戸、床下浸水277戸など、大きな被害が発生しました。

平成16年10月洪水の状況

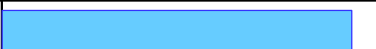
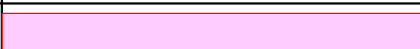
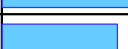


長良橋付近



美濃市上河和

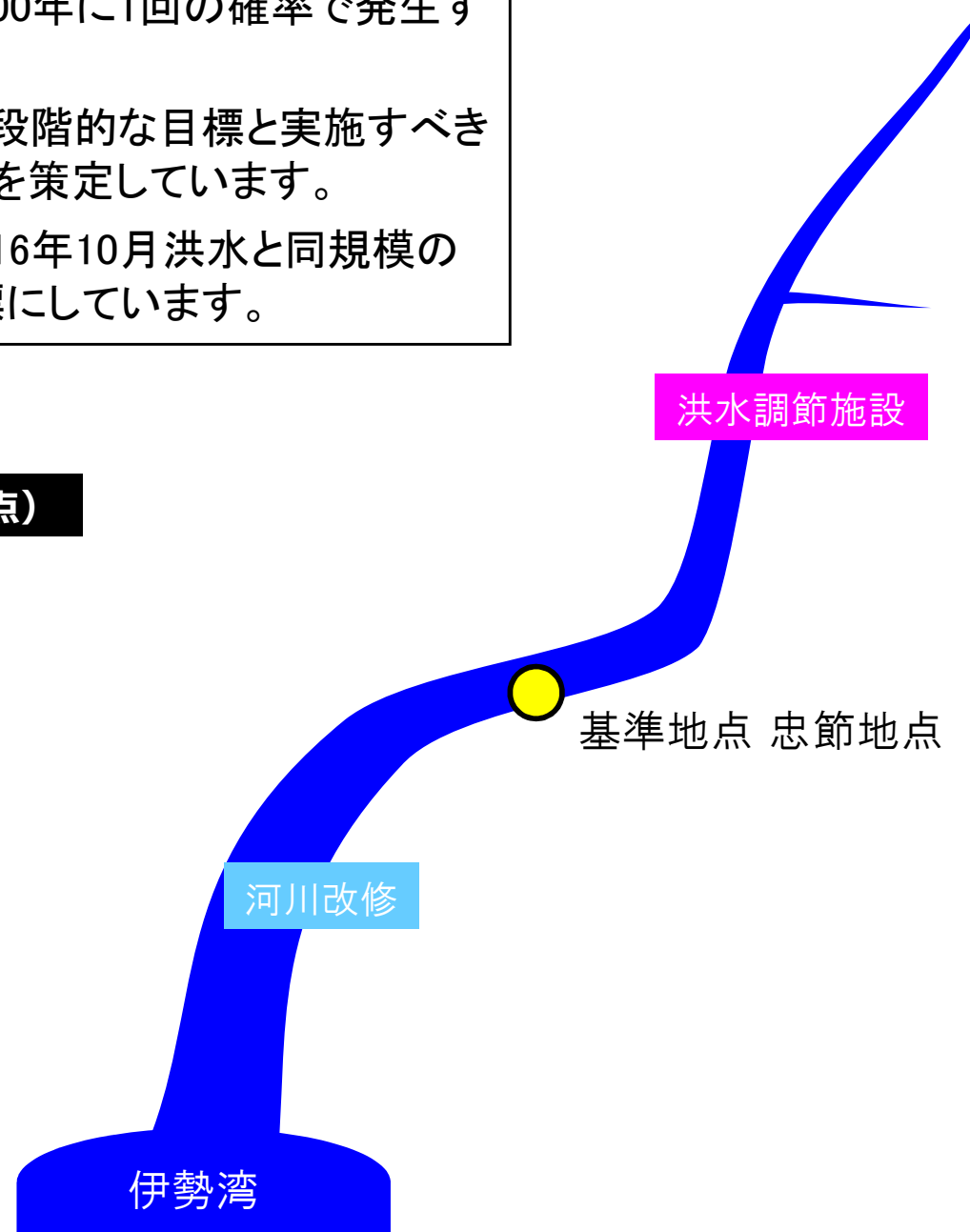
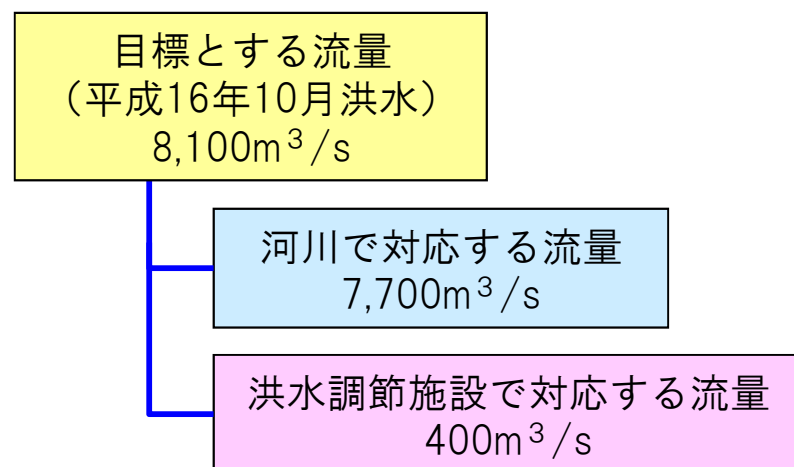
## 長良川忠節地点の観測流量 (主要洪水での流量・平成20年以降の年最大流量)

|          |           | 観測流量 (m <sup>3</sup> /s) |                                                                                       |
|----------|-----------|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和34年9月  | 伊勢湾台風     | 5,560                    |    |
| 昭和35年8月  | 台風11号・12号 | 6,713                    |    |
| 昭和36年6月  | 梅雨前線      | 6,268                    |    |
| 昭和51年9月  | 安八豪雨      | 6,368                    |    |
| 平成16年10月 | 台風23号     | 7,667                    |    |
| 平成20年    | 8月29日     | 1,409                    |    |
| 平成21年    | 7月28日     | 2,424                    |    |
| 平成22年    | 7月12日     | 2,771                    |    |
| 平成23年    | 5月29日     | 2,662                    |    |
| 平成24年    | 7月12日     | 2,102                    |    |
| 平成25年    | 9月4日      | 2,058                    |    |
| 平成26年    | 8月10日     | 4,413                    |   |
| 平成27年    | 8月17日     | 1,522                    |  |
| 平成28年    | 9月20日     | 3,645                    |  |
| 平成29年    | 10月23日    | 2,376                    |  |
| 平成30年    | 7月8日      | 5,889                    |  |
| 令和元年     | 8月16日     | 3,485                    |  |
| 令和2年     | 7月8日      | 4,403                    |  |
| 令和3年     | 8月14日     | 3,438                    |  |
| 令和4年     | 9月20日     | 1,982                    |  |

# 河川整備の段階的目標(木曽川水系河川整備計画)

- 長良川では、河川整備の将来目標の規模を、100年に1回の確率で発生する洪水としています。
- 将来目標の達成に向け、当面(概ね30年間)の段階的な目標と実施すべき河川整備の具体内容を定めた「河川整備計画」を策定しています。
- 長良川(大臣管理区間)では、戦後最大の平成16年10月洪水と同規模の洪水が発生しても、安全に流下させることを目標にしています。

## 河川整備計画で目標とする流量(長良川: 忠節地点)



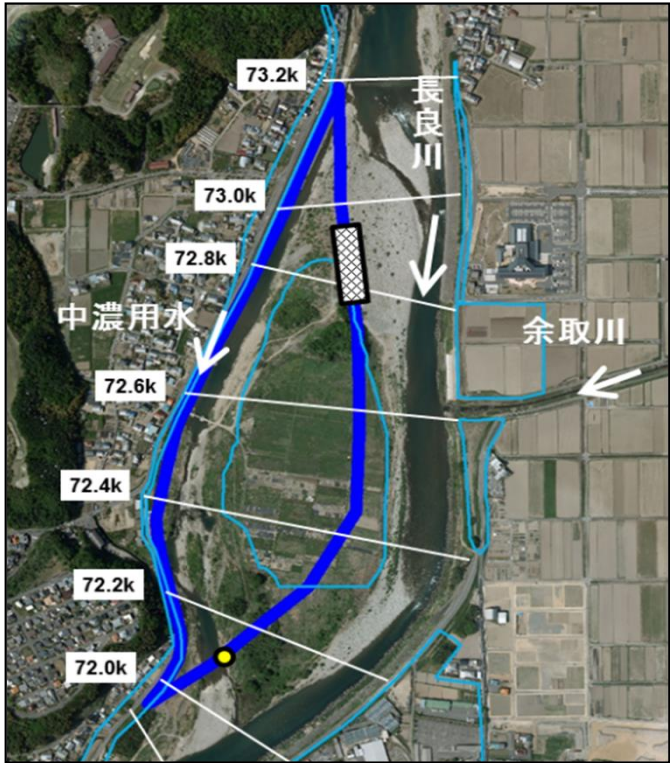
# 木曽川水系河川整備計画における洪水調節施設

○令和2年3月に河川整備計画を変更し、美濃市地区と関市地区を「長良川遊水地」として位置づけました。  
 ○「長良川遊水地」と、岐阜県が整備を進める「内ヶ谷ダム」により、400m<sup>3</sup>/sの洪水調節を行います。

## 長良川遊水地

### 美濃市地区

| 場所    | 湛水面積  | 容量                  |
|-------|-------|---------------------|
| 美濃市横越 | 約20ha | 約144万m <sup>3</sup> |



### 関市地区

| 場所   | 湛水面積  | 容量                 |
|------|-------|--------------------|
| 関市池尻 | 約20ha | 約55万m <sup>3</sup> |

※施設の規模は整備計画策定時点における数値



|    |     |                  |
|----|-----|------------------|
| 凡例 | 越流堤 | 排水樋門             |
|    | 開口部 | 平成16年10月洪水での浸水範囲 |

出展：平成16年台風23号水害報告 岐阜県河川課  
 (一部加筆修正)

## 内ヶ谷ダム (完成イメージ)





# 遊水地とは

- 遊水地は、大雨などで川の水が増えた時に、一部を貯めることで川に流れる水の量を減らすものです。
- 水がない平常時には、公園などの利活用が可能です。

## ①平常時

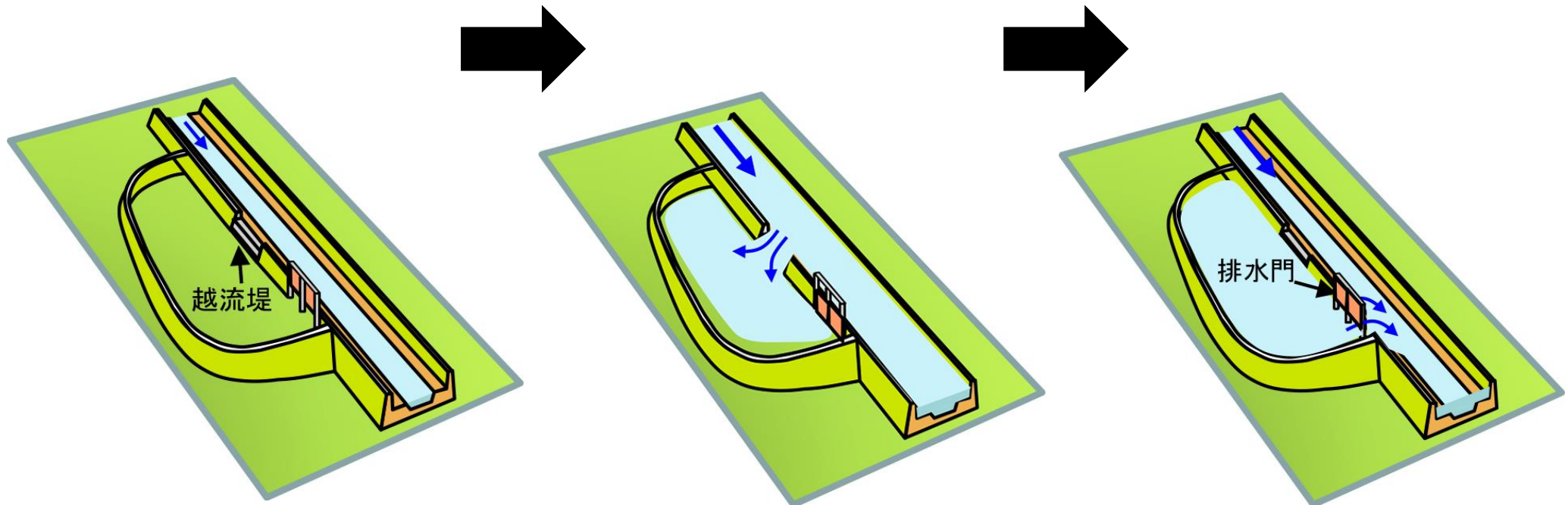
- ・川の水位が越流堤の高さを超えるまで、遊水地に洪水は入ってこない。
- ・遊水地内の土地では、公園などの利活用が可能。

## ②洪水時

- ・川の水位が上昇し、越流堤の高さを超えると、遊水地に洪水が入ってくる。
- ・遊水地には一時的に水が溜まる。

## ③洪水後

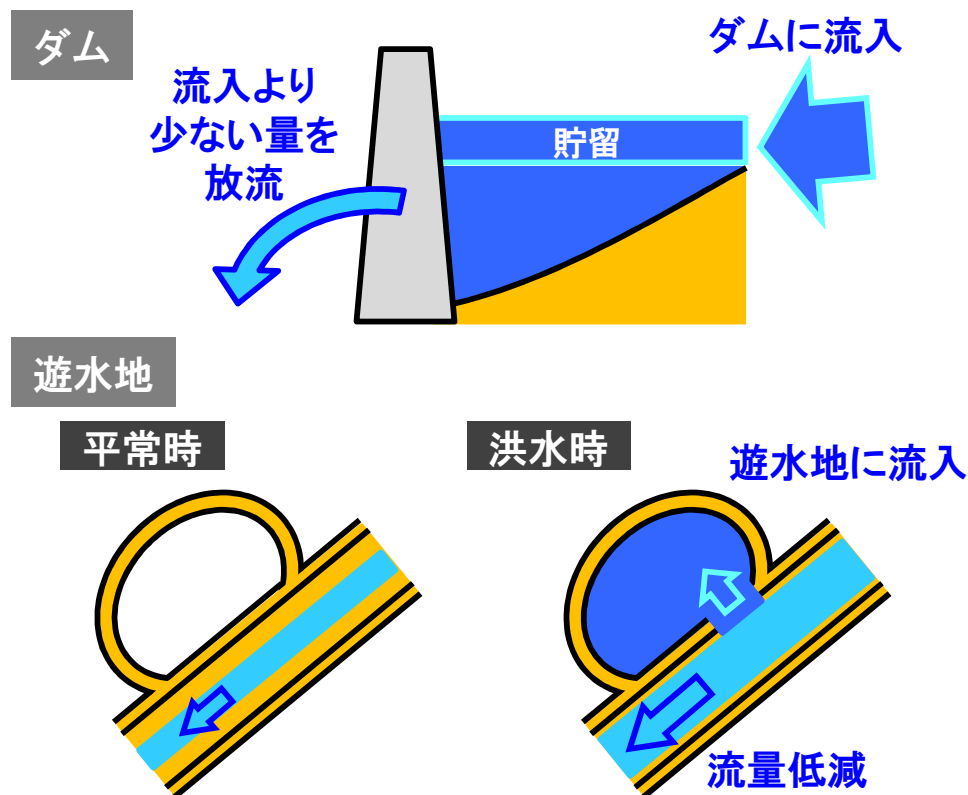
- ・川の水位が低下し、川の水位が遊水地の水位よりも低くなると、排水門を開けて、貯めた水を川に戻す。
- ・再び、遊水地内の土地では、公園などの利活用が可能。



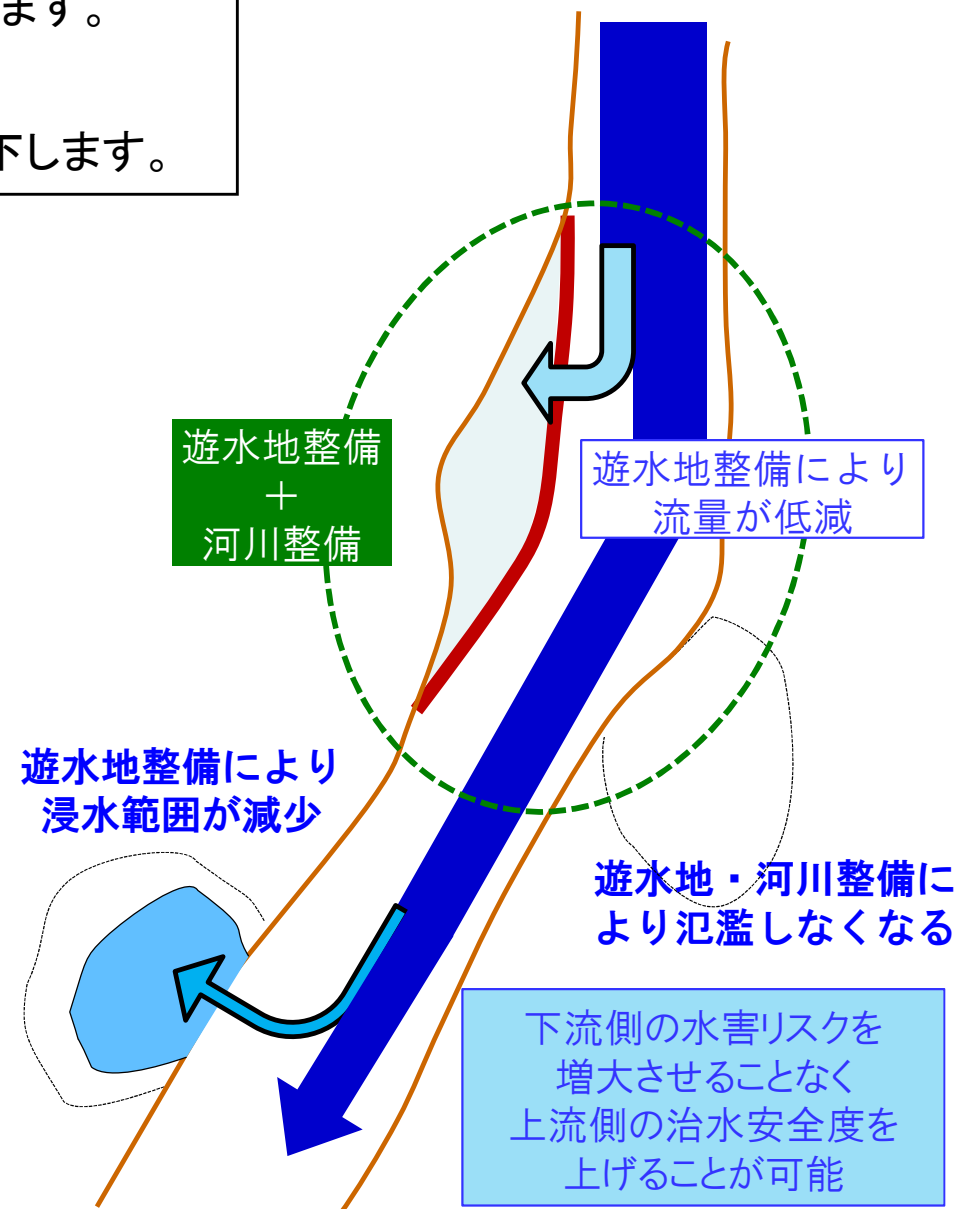
# 遊水地整備による地域の安全性向上

- 一般的に河川改修は下流側から実施しますが、遊水地などの洪水調節施設は流量の低減に寄与するため、先行することができます。
- 遊水地整備に併せて区間内の河道整備を実施できます。
- 美濃市地区においては、河道掘削により河川の水位が低下します。

## 洪水調節施設による河川流量の低減（イメージ）



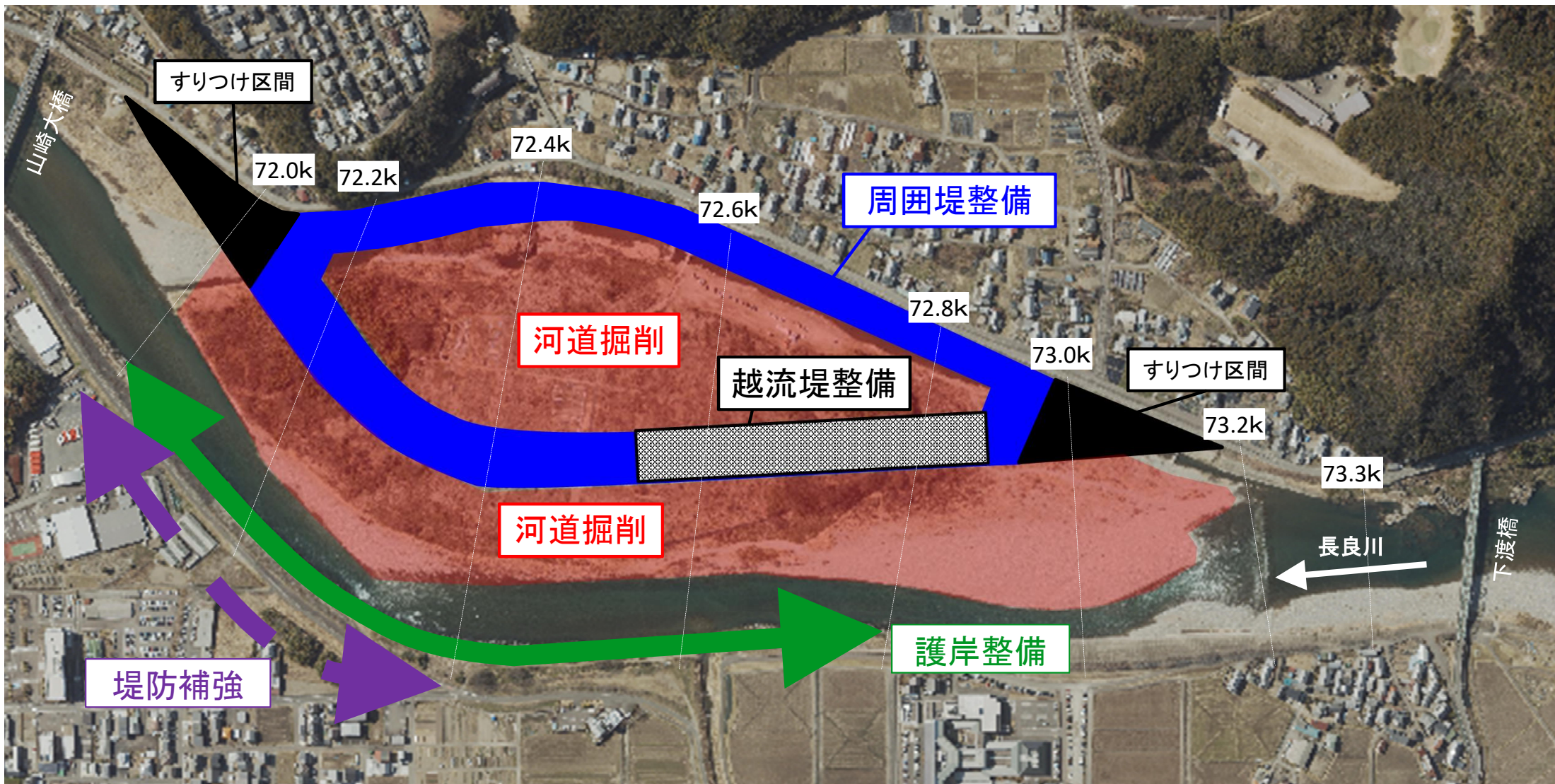
## 遊水地を含めて上流から整備する場合





# 長良川遊水地(美濃市地区)の整備内容(案)

- 遊水地に必要な貯水容量を確保するための、周囲堤及び越流堤の整備、河道掘削を行います。
- 洪水が流下する断面を確保し、河川の水位を下げるための河道掘削を行います。
- 左岸堤防の改築(川表側の護岸整備、越水対策としての川裏側の堤防補強)を行います。

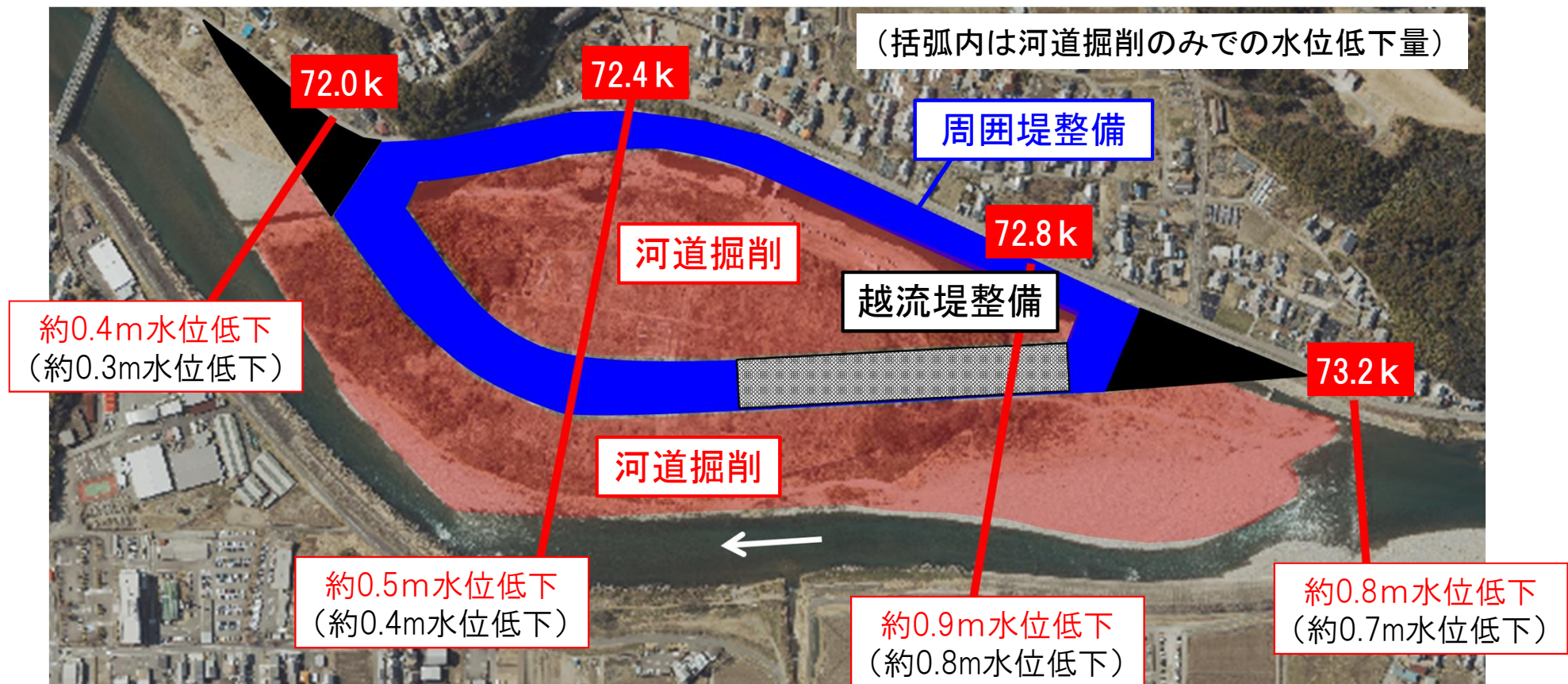


※令和6年7月時点での検討状況を示すものであり、今後変更となる場合があります。



# 河道掘削による水位低下

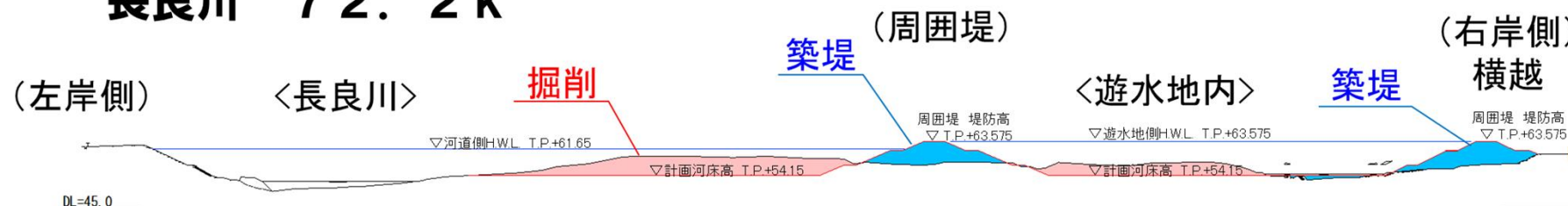
- 遊水地で貯留することによる流量低減と、河道掘削により、平成16年10月洪水と同規模の洪水に対して0.4m～0.9m程度、河川の水位が低下します。
- 遊水地が満水となり、流量をカットできない状態でも河道掘削のみで現況より水位が下がります。



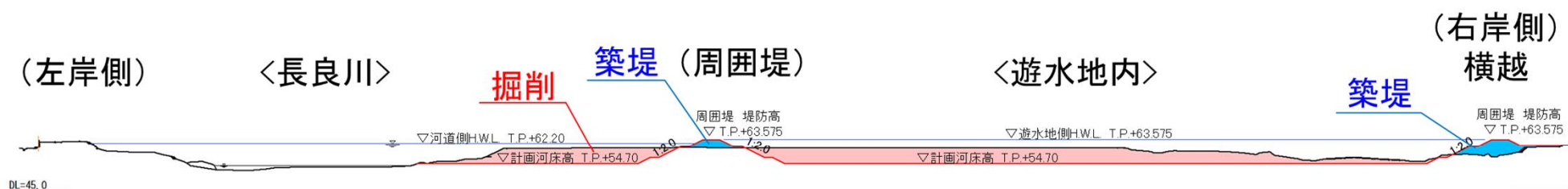


# (参考)横断図

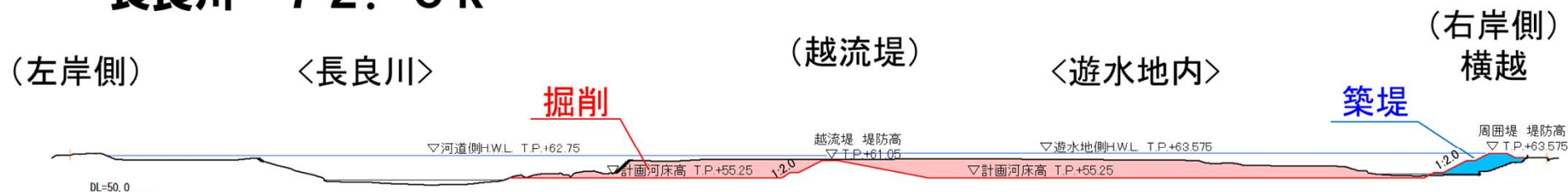
## 長良川 72.2k



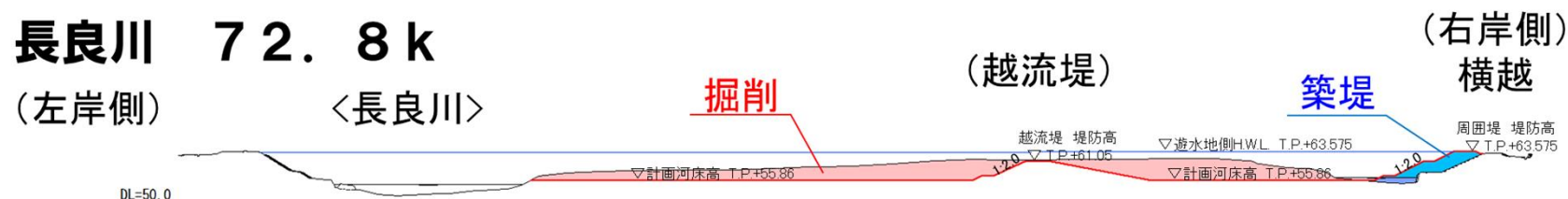
## 長良川 72.4k



## 長良川 72.6k



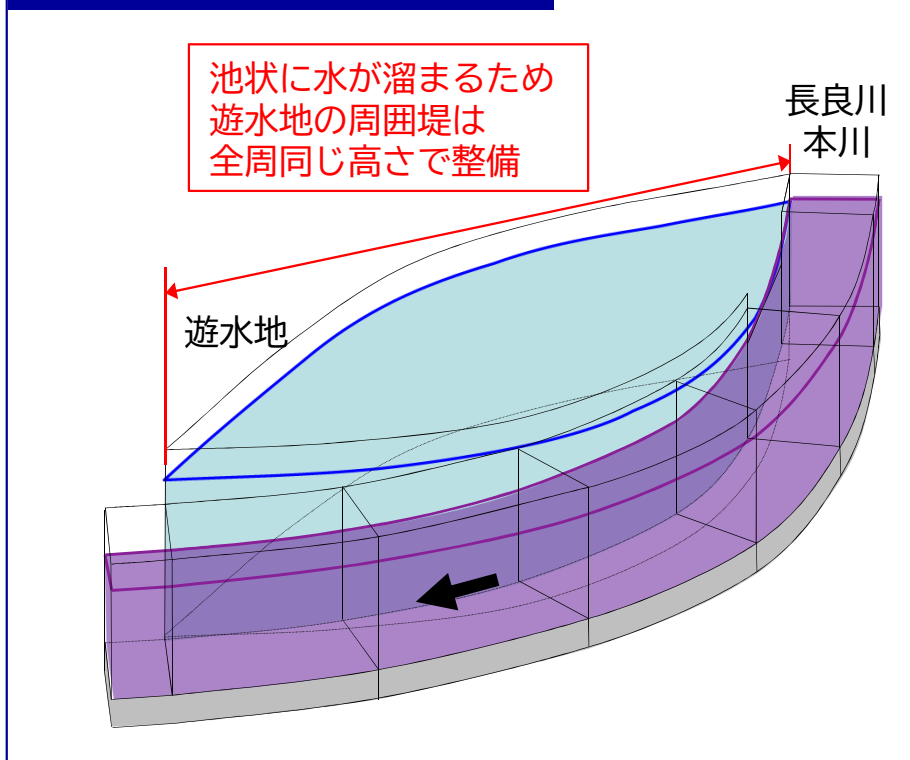
## 長良川 72.8k



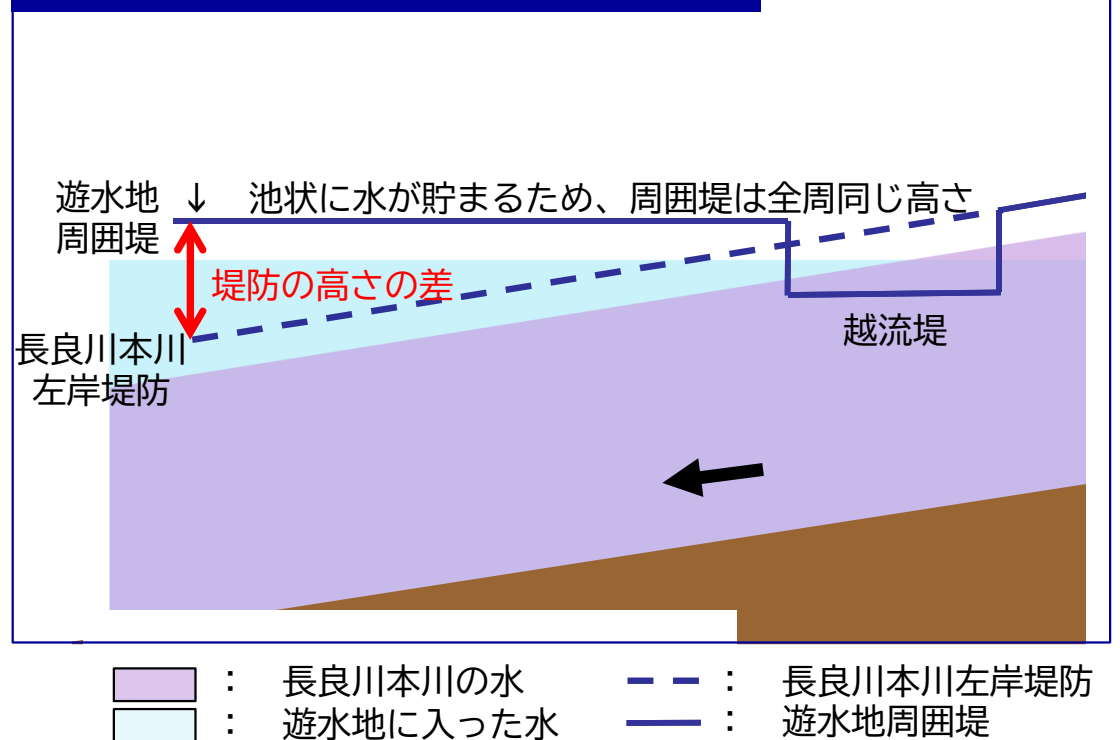
# 左右岸の堤防の高さの考え方

- 左岸側の長良川本川(中有知地区側)は、水が下流に向かって流れているため、堤防に勾配がつきます。
- 右岸側の遊水地内に入った水は水平に貯まるため、周囲堤は同じ高さで整備します。
- 一部、左右岸の堤防高が異なる区間がありますが、両岸とも戦後最大規模の洪水である平成16年10月洪水に対し、安全に洪水を流下させます。

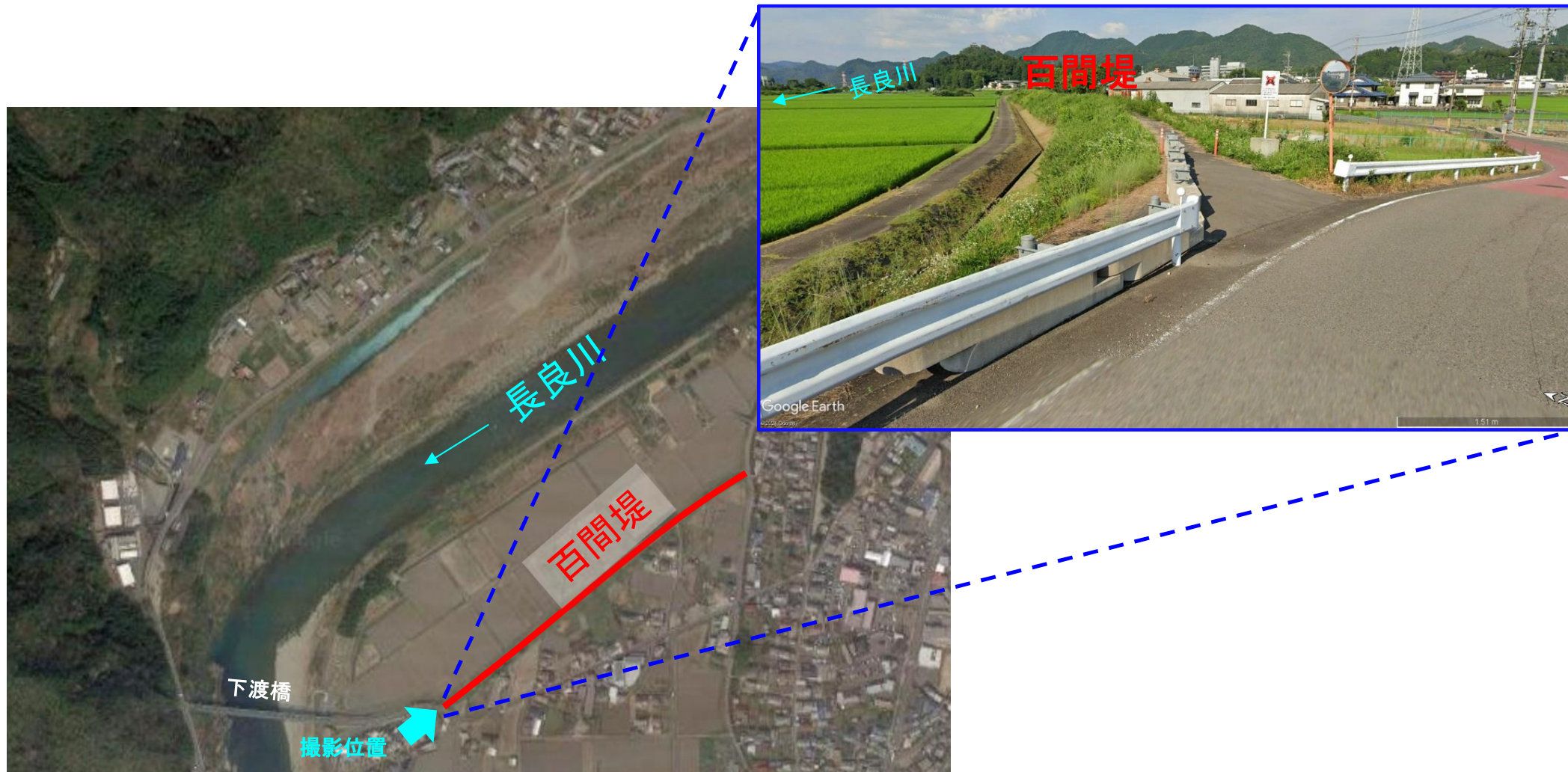
本川と遊水地の水位イメージ



横から見た本川と遊水地の水位イメージ



○遊水地整備に伴い発生する掘削土砂を活用し、百間堤の腹付け盛土を実施します。



※令和6年7月時点での検討状況を示すものであり、今後変更となる場合があります。 11



# 1. 現地状況

- 百間堤の天端幅員は約2.5mで、アスファルト舗装がされています。(写真①)
- 長良川側の堤脚部には、幅員約2.5mの道路と、高さ30cm・幅30cmの農業用水路が整備されています。(写真②、③)
- 百間堤の中間にある坂路は幅員約4.0mで、ガードレールが設置されています。(写真④)



幅員約2.5m



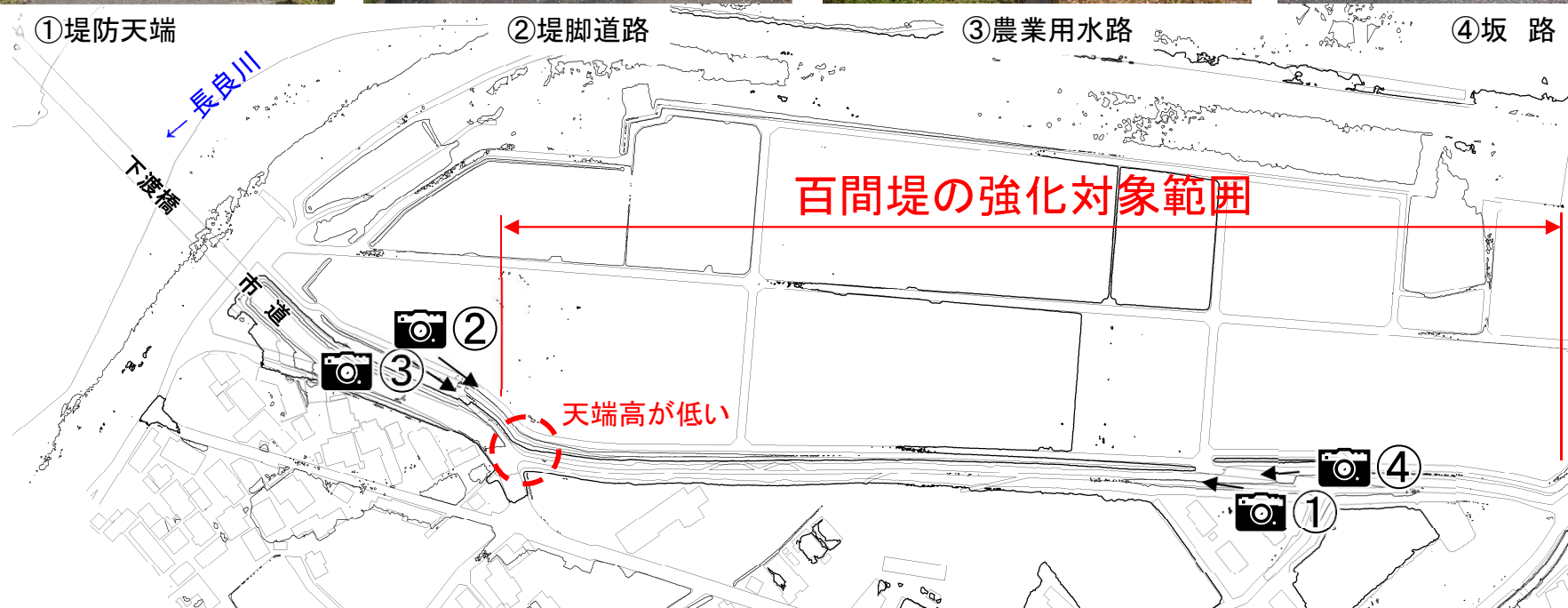
幅員約2.5m



農業用水路



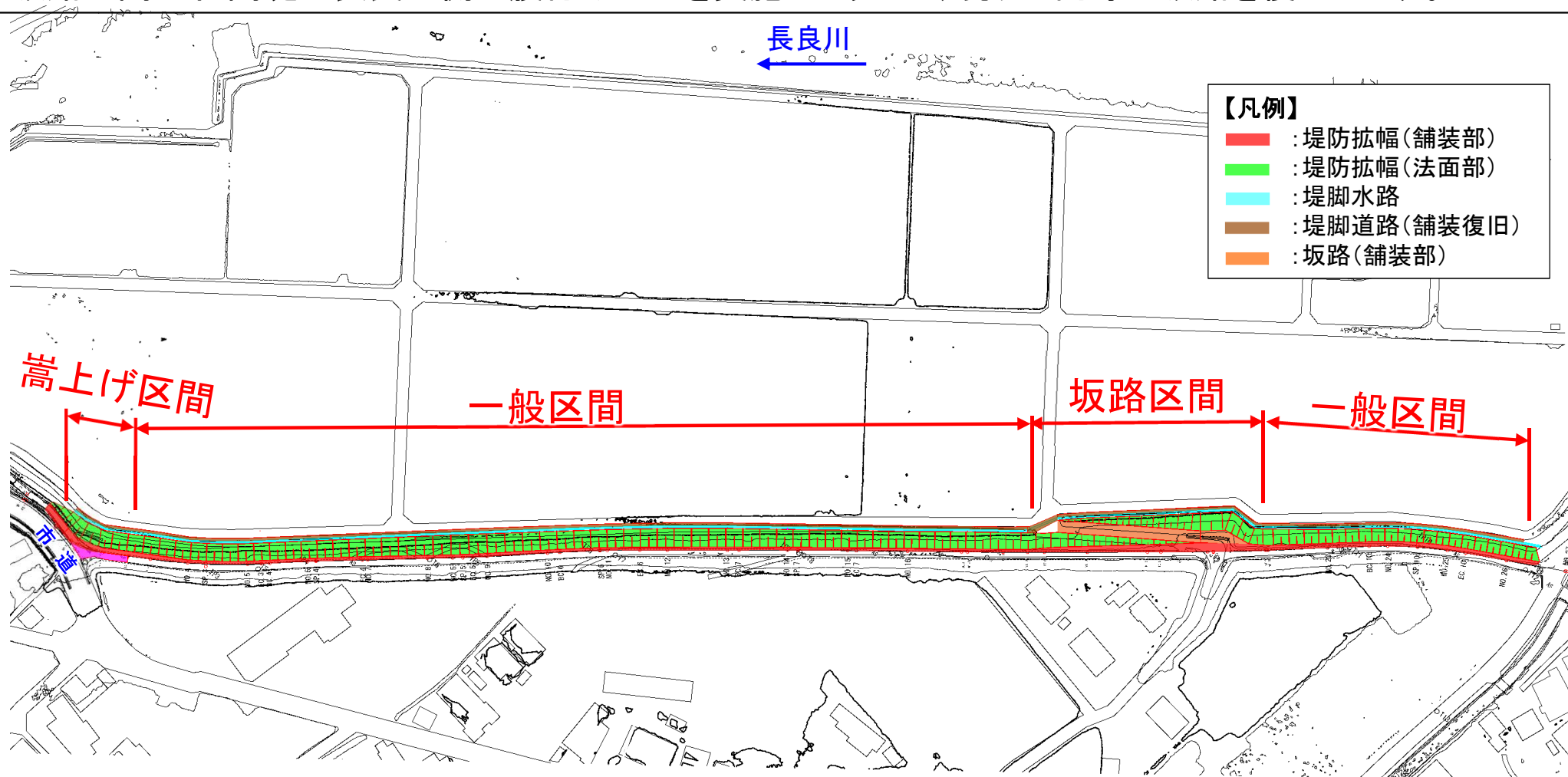
幅員約4m



## 2. 整備方針

既存施設の状況に応じて、区間を3パターンに分類し、整備を実施します。

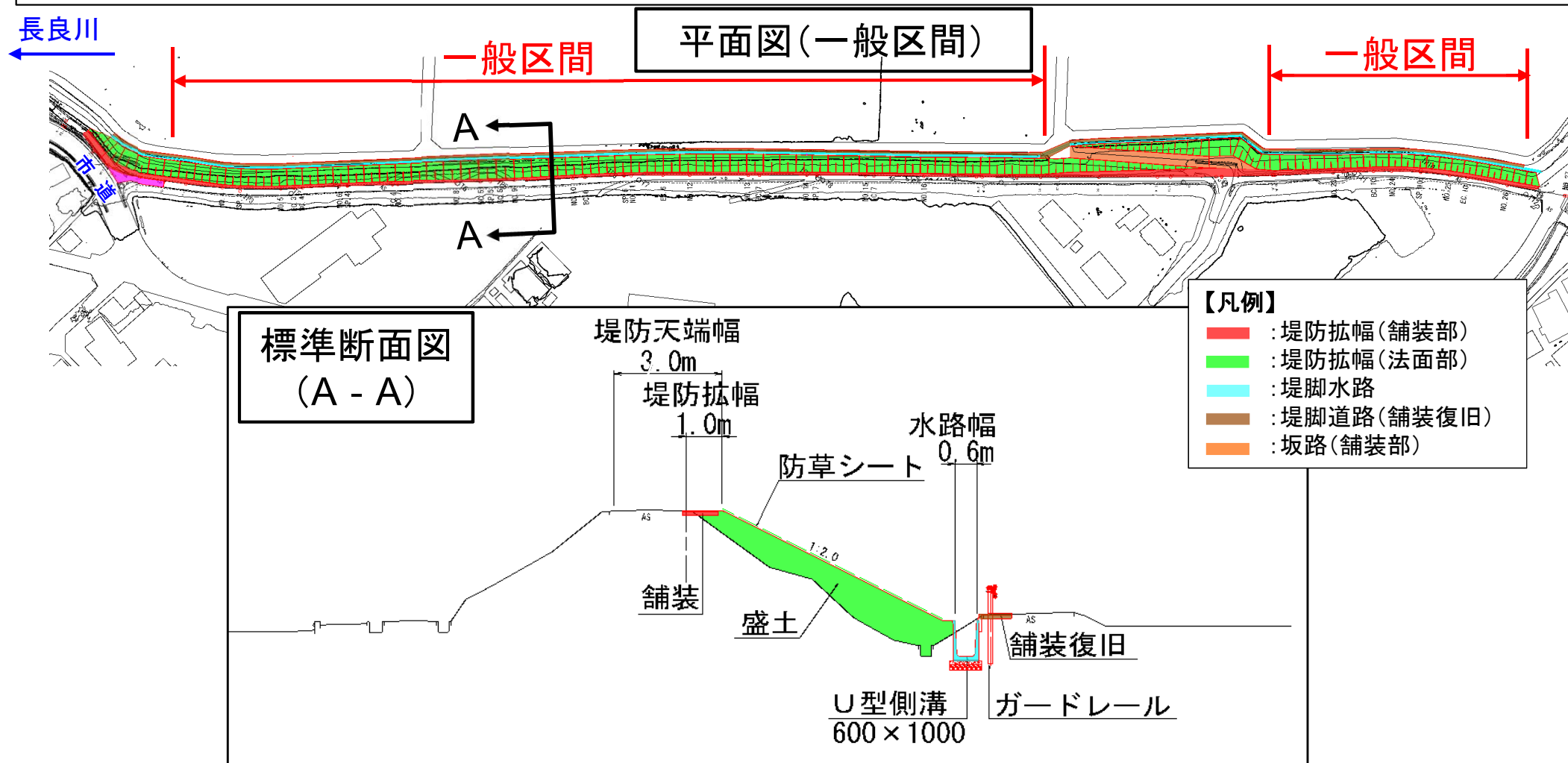
- 一般区間：百間堤の長良川側に現況と同等の法勾配で腹付け盛土を行い、農業用水路・道路を復旧します。
- 嵩上げ区間：高さが低くなっているため、百間堤の長良川側に腹付け盛土とともに嵩上げします。
- 坂路区間：百間堤の長良川側に腹付け盛土を実施したうえで、現況と同等の坂路を復旧します。



## 2. 整備方針(一般区間)

一般区間における整備方針を以下のとおりとします。

- ① 堤脚道路は、現況位置及び幅員を基本とします。
- ② 現況法面勾配相当で腹付け盛土を行い、堤脚道路と腹付け盛土の間に側溝を付け替えます。
- ③ 堤脚道路から側溝への車両の転落防止対策として、側溝に並走してガードレールを設置します。
- ④ 盛土部の法面は、植生の抑制および雨裂防止のため、防草シートを設置します。



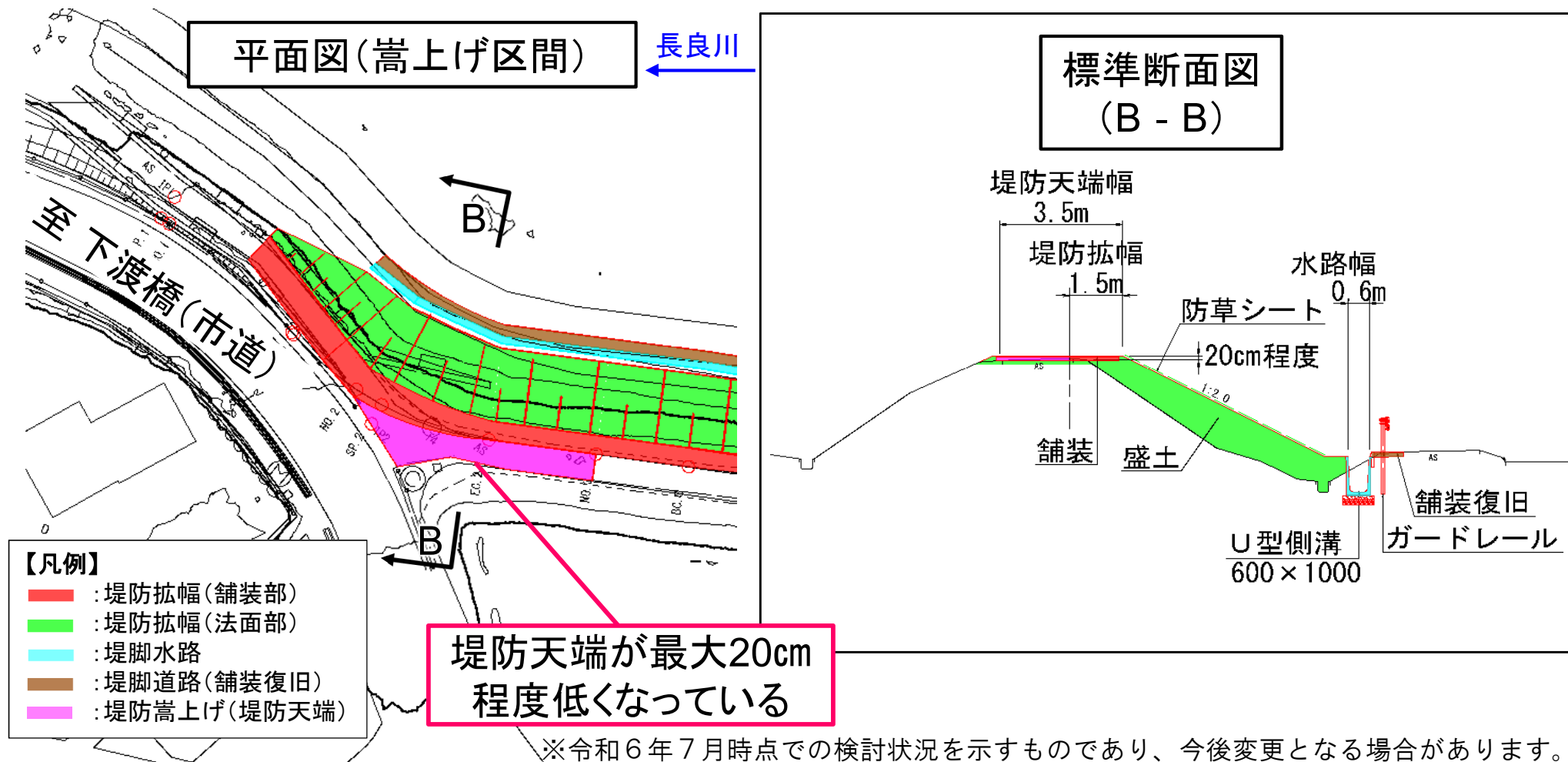
※令和6年7月時点での検討状況を示すものであり、今後変更となる場合があります。 14



## 2. 整備方針(嵩上げ区間)

嵩上げ区間における整備方針を以下のとおりとします。

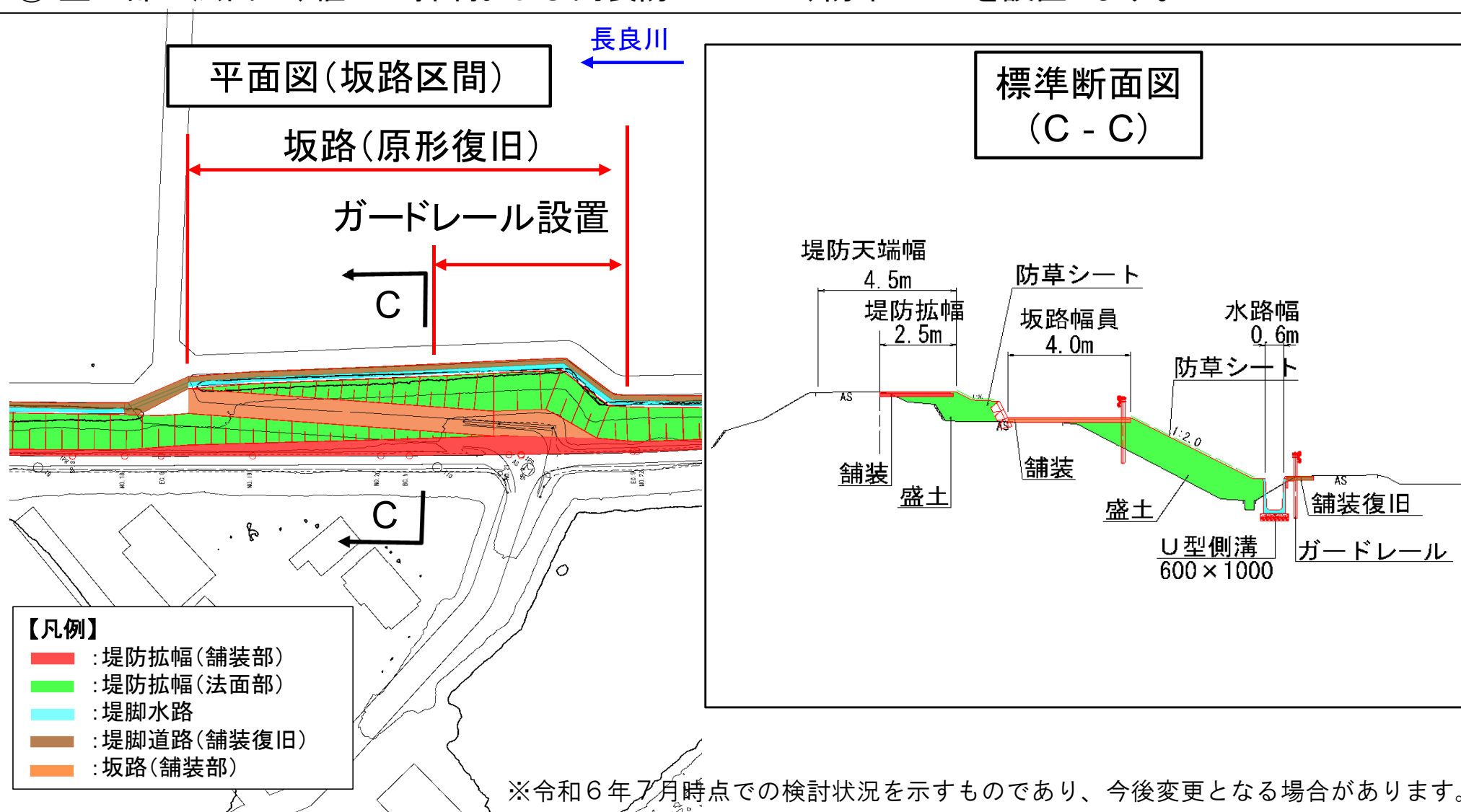
- ① 市道との交差部付近の天端高が低い区間は、一般区間と同程度の高さまで嵩上げします。
- ② 堤脚道路は、現況位置及び幅員を基本とします。
- ③ 現況法面勾配相当で腹付け盛土を行い、堤脚道路と腹付け盛土の間に側溝を付け替えます。
- ④ 堤脚道路から側溝への車両の転落防止対策として、道路に並走してガードレールを設置します。
- ⑤ 盛土部の法面は、植生の抑制および雨裂防止のため、防草シートを設置します。



## 2. 整備方針(坂路区間)

坂路区間における整備方針を以下のとおりとします。

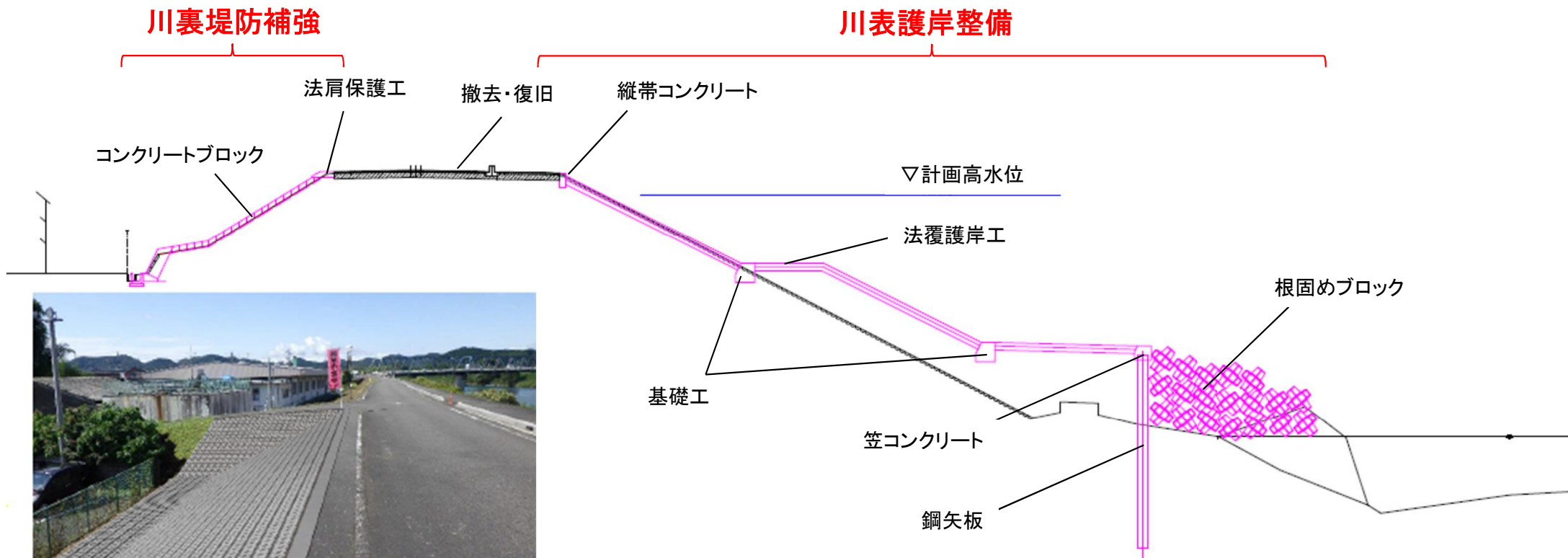
- ① 腹付け盛土後、通行機能を確保するため、坂路を現況幅員で原形復旧します。
- ② 坂路は整備前と同様にアスファルト舗装を行うとともに、ガードレールを設置します。
- ③ 盛土部の法面は、植生の抑制および雨裂防止のため、防草シートを設置します。



# 左岸堤防(道塚堤)の整備の考え方

- 左岸堤防(道塚堤)は、平成16年10月の洪水により越水した実績があり、湾曲による水位が上昇しやすいことから、越水した場合でも決壊しにくい対策を行うこととします。
- 堤防の川表側は、護岸を整備し、流水に対して堤防を保護します。
- 堤防の川裏側は、川表の護岸整備と併せてコンクリートブロックを設置し、さらに堤防を強化します。

## 左岸堤防(道塚堤)の整備(案)

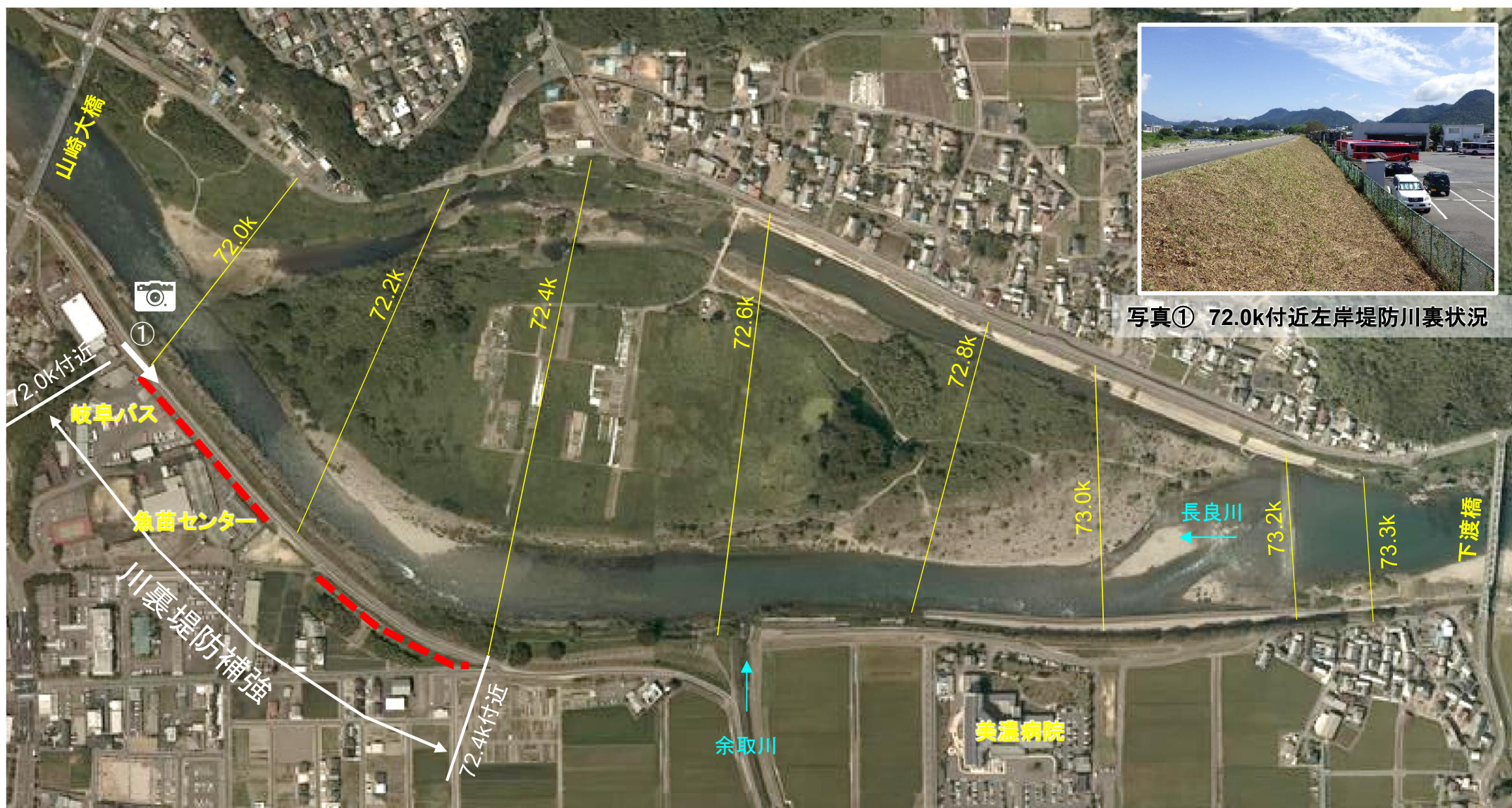


川裏堤防補強イメージ

※令和6年7月時点での検討状況を示すものであり、今後詳細な設計を行う中で変更となる場合がありますが、川表側、川裏側ともに護岸を整備する方針に変更はありません。



# 令和6年度 施工範囲(予定)

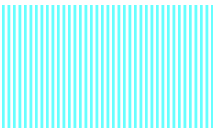


# 遊水地整備後の洪水に対する安全性について

- 美濃市地区の遊水地は河道内に整備しますが、遊水地整備と合わせて長良川本川の河道掘削を行うことで、現況よりも安全度の高い河道とします。
- 遊水地整備及び河道掘削により、平成16年10月洪水と同規模の洪水に対し、長良川本川において約0.4m～約0.9mの水位低下効果が見込まれます。
- 遊水地整備と合わせて、逆流防止用のゲートの設置と大谷川合流点の付け替えを実施することにより、内水被害を軽減し、右岸地区の安全性を向上させます。また、道塚堤の護岸整備（川表側）や堤防補強（川裏側）、百間堤の強化（拡幅）を実施し、左岸地区の安全性を向上させます。
- これらの治水対策は、平成16年10月洪水を上回る洪水に対しても有効で、現況より安全性が向上します。

# 事業のスケジュールについて

## 長良川遊水地（美濃市地区）事業スケジュール（案）

| 実施内容 \ 経過年数         | 1                                                                                  | 2                                                                                    | 3 | 4                                                                                     | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10年目以降 |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|---|--------|
| 用地調査・買収             |  |                                                                                      |   |                                                                                       |   |   |   |   |   |        |
| 左岸堤防補強工事（道塚堤）       |  |                                                                                      |   |                                                                                       |   |   |   |   |   |        |
| 河道掘削                |                                                                                    |  |   |  |   |   |   |   |   |        |
| 遊水地整備<br>（掘削、周囲堤整備） |                                                                                    |                                                                                      |   |  |   |   |   |   |   |        |



# 国管理区間の河川管理について

○令和3年4月に長良川の72.0k～73.3k区間(山崎大橋上流約300mから下渡橋下流約100mまで)の河川管理が、岐阜県から木曽川上流河川事務所に變更され、同年同月に改定された『木曽川水系河川維持管理計画』にもとづき、河川管理を実施しています。

## 【実施内容】

- ・平常時巡視
- ・出水時巡視
- ・地震時点検
- ・堤防除草
- ・堤防点検
- ・樋管等、河川管理施設の点検



平常時巡視

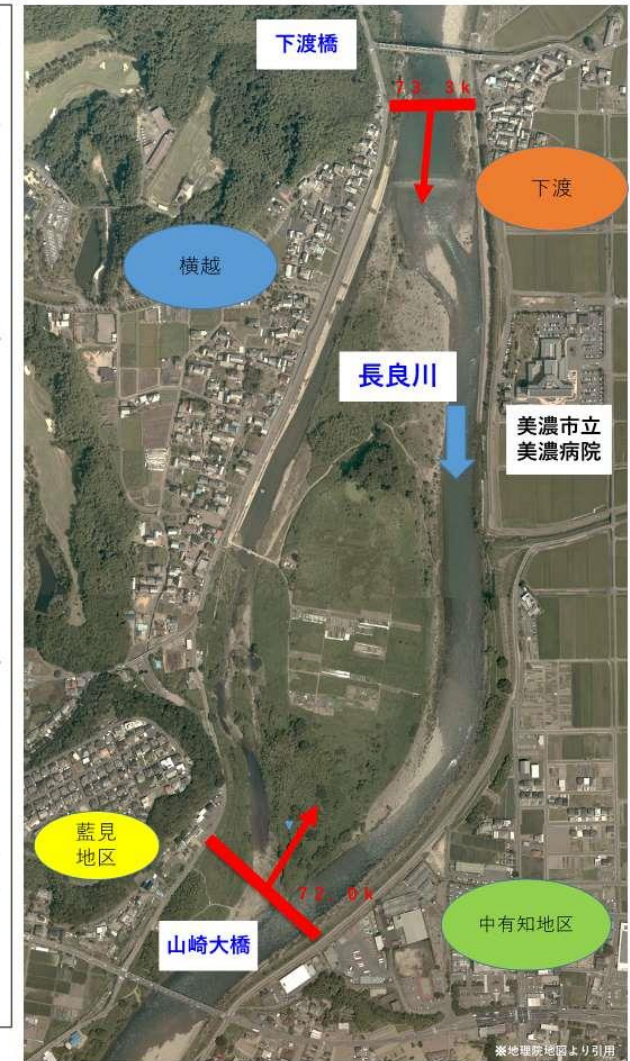


堤防除草



堤防点検

長良川河口より七二・〇k から 七三・三k までです



令和3年4月から木曽川上流河川事務所が管理している区間です